

カラト水彩色鉛筆で描く



《中級編》 いちご



使用した色

- ② レッド ※ 125-2
- ⑤ グリーン ※ 125-5
- ⑦ サンド 125-11
- ⑨ カーマイン 125-29
- ⑤⑥ ライトオリブ ※ 125-56
- ⑦⑥ パンダイクブラウン ※ 125-76

※印の色は24色セットに入っています。無い色は似た色に置き換えていただくか、単色でご購入もできます。

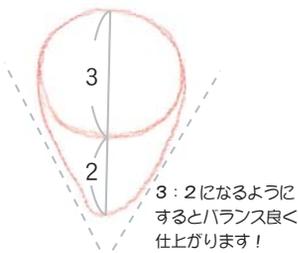
1 ②でイチゴの上部になる楕円を描く。



横幅約3cmくらいを目安に、下をあげて描き始めましょう。

※1〜4で描く線は「あたり」といわれる下書きの線なのでなるべくうすく描くと間違っても後で溶かした時見えなくなります。

2 楕円の下に少し歪んだとんがりを描く。これがイチゴの輪郭になります。



3:2になるようにするとバランス良く仕上がります!

3 白くぬり残す所に丸くしるしを付けておく。

※白く残す事でヒカッと光った感じになると種のまわりが盛り上がりたて新鮮なイチゴに見えます。



なるべく形にそって楕円の向きを変えると立体的になります。

4 葉っぱ(へた)の部分を⑤⑥で、小さめに☆印を描く。



☆の位置を変えると苺の向きが変わります。

横向きにも...

5 ☆の形のまわりに⑤⑥でギザギザの葉っぱを描き、中心を⑤でぬる。

⑤⑥で茎も描く



なるべくうろたな感じで。葉の数は増やしてもOK!

※☆印の色はわかりやすいように変えています。

真ん中を濃いめの色でぬると立体感が出ます。

6 ⑪で上部を、②で真ん中を⑲で一下を塗りつぶす。



一番上は塗らずに残しておく。

※なるべく濃く塗りつぶした方がおいしそうに仕上がります!

7 白く残したつぶつぶの所を塗らないようにうすい方から濃い方へ水筆で溶かす。



淡
濃
※戻らない事!

一番上の白い所は水で湿らせるくらいにしておくと、後で自然に色がなじんで濃いグラデーションができます。

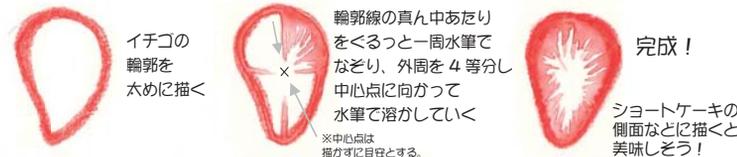


白く残した所以外にもバランスを見て配置する。

これでイチゴの完成!

応用編 イチゴの断面図

イチゴの形を描く事に慣れたら断面図にもチャレンジしよう!



イチゴの輪郭を太めに描く

輪郭線の真ん中あたりをぐるっと一周水筆でなぞり、外周を4等分し中心点に向かって水筆で溶かしていく
※中心点は描かずに目安とする。

完成!

ショートケーキの側面などに描くと美味しく!